



みたけさん

第16号

令和8年1月1日発行

発行 三嶽神社

編集 権禰宜 新山敏彦

ホームページ <https://mitakejinja.com>



令和八年（丙午）新年のご挨拶

三嶽神社宮司 新山敏彦

令和八年の念頭にあたり、新年のご挨拶を申上げます。

先ず以て旧年中の当社運営に対する各位のご理解とご協力を心より御礼を申上げます。

今年は「丙午」。十干の丙は「木、火、土、金、水」という「氣（はたらき）」を表す五行の「火」に属しており、太陽のような激しい熱を表しているとのことです。

一方十一支の午は元の植物の状態を表す字では「午」であり、前の巳年（植物の状態を表す字も同じく「巳」）で成長した植物が、成長を止める時期を表し、この「二つ」を掛け合わせて読めば、全力で最大限の成長を目指し、それを成し遂げる年と読むことができるのだそうです。

前述のとおり、火ののような強さで最大限の成長を実現する「丙午」はすべてを焼き尽くすほどの勢いを持つていますから、暴走しないよう、手綱を締めて、目標をしっかりと見定めて進んでいけば、次の大引きな実りを得るために、勢いに乗ってラストスパートをかけることができるのだと思います。皆さまにも大きな実りがある年となりますようご期待申上げます。

謹んで初春のお慶びを申上げます。
旧年中は、皆様のご支援とご協力により、無事に一年を過ごすことができました。心より感謝申上げます。

御成敗式目には、「神は人の敬によりて威を増し、人は神の徳によりて運を添う」という神道の神々と人間の関係を最も的確に表した言葉がありますが、そこには、神道のいかなる神々も人間の感謝と崇敬を受けてこそ、そのご神威を輝かせるのであり、人が人生において命や運を与えるのは、神々から賜わる徳や恩恵によるのだとの意味が示されています。

我々神社総代も大神さまのご神威が益々高まるようご奉仕して参りますので、是非皆さまも三嶽神社にお参り戴き、大神さまのご加護のもと、平穏無事な年となりますようお祈り申上げます。

令和8年 三嶽神社祭典等行事予定表

1月 1日 (水)	10時～	歳旦祭
15日 (水)	10時～	どんど祭
4月12日 (日)	10時～	祈年祭並びに火防祭
6月28日 (日)	10時～	夏越の大祓
9月12日 (金)	10時～	例大祭
11月22日 (日)	10時～	新嘗祭
12月20日 (日)	10時～	年越の大祓
(都合により日程を変更する場合があります)		

三嶽神社総代長 高橋初雄

令和8年新年祈祷のご案内

新玉の年にあたりご家族、個人、企業、団体様の新年祈祷のご予約を承ります。
年の初めの清々しい気持ちで、1年の平安と益々のご発展を氏神さまにお祈り戴き、ご加護を得られますよう、皆様のご参拝を心よりお待ちしております。

- ・期間 令和8年元旦午後2時（新年一番祈祷）～同年3月末日午後5時
- ・祈祷料 個人5,000円～、法人10,000円～（出張祈祷は30,000円～）
- ・連絡先 三嶽神社（携帯090-8788-5530 担当・権禰宜 新山敏彦）



厄を祓って清々しい一年を！

厄払い祈願のご案内

厄年は、数え年で男性が25歳・42歳・61歳、女性が19歳・33歳・37歳の年で、その前後の年を前厄・後厄と呼んでいます。

中でも男性は42歳、女性は33歳を「大厄」と言い、一生の中でも、体力、家庭環境、対社会的にそれぞれ転機を迎える時でもあり、災厄が起こりやすい時期として忌み慎まれています。

そのため大神さまのご加護により災厄から身を護るために、神社に参詣して災厄を払う厄払い祈願を受けられる方が多くいらっしゃいます。

厄払い祈願は皆さまの氏神さまである三嶽神社で受けられますよう、ご案内申上げます。

厄払い祈願のお申込みは神社社務所までお越し戴くか、電話（090-8788-5530 権爾宜 新山敏彦）、または当社ホームページのお問合せフォームからお願いします。

申 く氏きる臨年代年 奉む
上雅 れ子っこし神と神ご 納—今
げ生 てのとてはいを承 さ雅年
ま園 い皆年かくこう迎知 れ生も
す様 るさ神らるの意えの ま園上
にもまさ、と門味入と まし—似
心 のをま三も松合れお 様内
より とおが嶽言をいりり よの
御 存守降神わ目がた門 り造
礼 じり臨社れ印あめ松 門園
を ましさにてにりのに 松を
す。 すれもい降、依は が營

門松奉納御礼



正月授与品のご案内

新しき年、三嶽の大神さまのご加護を戴かれますよう、破魔矢、熊手の縁起物をご用意しております。

また、お札やお歳神もございますので、年末にお取替えができなかったご家庭には、この機会に是非お求めください。

令和8年「正月限定ご朱印」・「季節のご朱印」頒布のご案内

令和8年の新春を寿ぎ、「正月限定ご朱印」を頒布します。正月を祝う言葉と今年の干支の文字、そしてご朱印の下には午（馬）のスタンプが押されています。期間は令和8年の元旦から1月15日迄です（日付は参拝された日をお入れ致します）。

またご好評をいただいております「季節のご朱印」。日本の文化や伝統行事をあしらったご朱印で、1月は干支の「日の出と午（馬）」、2月は「雪山」です（「季節のご朱印」は書置きとなります。）。

初詣をはじめ参拝の証として、また縁起物として是非ご朱印拝受をお申し出ください。尚、正月限定ご朱印は元日のみ書置きでの対応とさせて戴きますので、予めご諒承ください。

正月限定



季節のご朱印

1月
(日の出と馬)



季節のご朱印

2月
(雪山)



新嘗祭(収穫感謝祭)斎行

旧年11月23日に各農家組合長等参列のもと、新嘗祭が斎行され、参列者が各々玉串を捧げ、三嶽の大神さまに秋の実りに対する感謝の誠が捧げられました。

昨年は猛暑と水不足により農作物への被害が懸念されましたが、無事に収穫の秋を迎えたことは、偏に大神さまのご加護と生産者のご尽力の賜物であり、私たちもその恵みを戴くことができています。

新嘗祭に際しては、下記の方々より大神さまへ感謝の気持ちを表すべく、米や野菜が奉納され、ご神前に供えられました。ここにあらためて御札を申上げます。

今年も豊作の秋を迎えられますよう、ご祈念申上げます。

新嘗祭収穫物奉納御礼

高橋初雄様 米一升
鎌田 剛様 米一升、柿、南瓜各一山
阿部教男様 人参一山
阿部忠由様 里芋一山
葛尾定治様 白菜、大根、蕪各一山
葛尾昌悦様 玄米30キロ
農事組合法人遊心様 米30キロ
新屋農園様 バターナッツ、南瓜、ソーメン南瓜各一山
株式会社陸奥様 潰物一式
さい子さん家の漬物様 漬物一式



また新嘗祭に併せて年末に各ご家庭でお受け戴いた神宮大麻をはじめ三嶽神社のお札やお歳神などを神前にてお祓い致しました。

古いお札やお守りをお焚き上げ！

どんど祭のご案内

旧年中に皆さまのご健康やご多幸、また家内安全などご加護戴いたお札・お守りなどは、1月15日の10時から神社境内でお祓いの上お焚き上げ致します（お焚き上げ初穂料300円以上お納め願います）。

古いお札やお守りは境内に設置した古札納め所にお納め下さい（古札納め所は元日から設置しています）。尚、お持ち戴く際は、予め燃えるものと燃えないものに別けて戴きますようお願い致します。